



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL.079-454-1447

3月は学年末の月。卒業式などの行事が続きますが、体調を崩さないように過ごしましょう。そしてこれまで勉強してきたことがしっかり身につについているか確かめながら復習し、次の学年につなげていきましょう。(raikon/PIXTA)


 だれでも
分かる

教育情報 & ニュース



(イラスト yoshi/PIXTA)

記録的な暖冬 花粉の飛散・桜開花も早めか

この冬は、全国的に記録的な暖冬となっています。関東以西(沖縄・奄美を除く)の今年1月の平均気温が、1946年の統計開始以降最も高くなり、1月の降雪量も北日本から西日本の日本海側で、61年の統計開始以降最も少なかったと、気象庁が発表しました。暖冬の原因は、全国的に北からの寒気があまり南へ広がらなかったためです。豪雪地帯でも積雪が0という日が続きました。大阪市では、最高気温が19.1度に達し104年ぶりに1月の観測史上最高気温を更新するなど、暖かな日が続きました。

この暖冬の影響で、平年より花粉の飛散が早まっています。また、日本気象協会の発表によると、今年の桜の開花は例年よりも記録的な早さで開花する所が多く、最も早い所で福岡の3月16日、東京では3月17日に開花すると予想しています。



(hide/PIXTA)

4月から変わる！ 小学校新学習指導要領

今年の4月から、小学校の「学習指導要領」が変わります。「学習指導要領」とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるように、文部科学省が定めた学習のカリキュラムを編成する際の基準です。

〈新しい学習指導要領の主なポイント〉

- ・外国語活動を3,4年に前倒しし、**5,6年は英語を教科化**する(成績がつけられる)
- ・それに伴い、授業時間数が**140時間増える**
- ・小学校で学習すべき漢字が31年ぶりに改訂され、1006字から**1026字に増加**(4年で都道府県の漢字を全て学習)
- ・コンピューターを使ったプログラミング教育のほか、各教科で**プログラミング的思考**を身に付けるための学習が多く取り入れられる

来年度は中学校の学習指導要領も改訂

来年の2021年には、中学校の学習指導要領も改訂されます。小学校のように授業数は増えませんが、学習内容では次のような変更があります。これからの学習の参考にしてください。

〈主な例〉

- (英語)
・学習単語数が小学校で学習するものに**1600~1800語**(現行は1200語)に大きく増加
- ・現在**高校で学習する文法事項の一部**(現在完了進行形, 仮定法, 原形不定詞など)を中学校で学習
- (数学)
・誤差と近似値を扱う単元が「**平方根**」に変更
- (理科)
・**放射線, 自然災害**の学習が増加

新学期 良いスタートを切るためのコツ！

4月になれば、みなさんは新しい学年に進級です。小6のみなさんは中学生になり、新しい環境での生活が始まります。今の小1～小5、中1、中2のみなさんにも新しい出会いが待っています。ここでは、今からできる新生活をスムーズに始めるコツをお伝えします。

★新中1生はここを押さえよう！



中学校の授業では、各教科の授業が小学校よりも難しくなり、1回の授業で習う量も多くなります。ですから、勉強のしかたを小学校の時と変える必要があります。毎日の予習・復習をしっかりと行い、分からないところをそのままにせず、理解してから先に進むことが大切です。今から、予習・復習の習慣をつけましょう。また、中学校では定期的に学習内容の理解度を確認する「定期テスト」があります。定期テストの点数を元に成績が決まるので、しっかり対策をしておくことが大切です。定期テスト用の勉強も習慣づけましょう。

そして、中学校では部活動が始まります。興味のある部を見学・体験入部して、自分に合った部を選びましょう。部活動は、心身がきたえられるだけでなく、新しい友達や先輩との人間関係が広がり、学校生活が充実しますよ。



★新中2生はここを押さえよう！

中2生は、生活リズムにも慣れ、「入試はまだ先」と考え、少し中だるみしがちです。でも中2生は学習内容が多だけでなく、入試頻出の重要な内容もたくさん習います。日々の学習は積み重ねが大切。中2の出だしでつまづかないように、春休みに中1の復習をしましょう。特に苦手教科は、中1のテストや問題集で間違えた問題を直し、今のうちに苦手分野をなくしておくことと安心です。

また、中2生になると、部活では先輩の立場になり、中心に立って活躍していくことになります。忙しい中で勉強と部活動を両立していくには、時間を上手に使うことが大切。例えば、授業の開始前、家で寝る前や、朝起きた直後など、「スキマ時間」を使うことで英単語や用語を暗記することができます。



★新中3生はここを押さえよう！

中3生は、いよいよ受験勉強が始まります。まずは、受験までのスケジュールを確認して、学習計画を立てましょう。計画を立て終えたら、中1・2で勉強した範囲の復習から始めましょう。これまでの教材や定期テストを見返して、つまづきをなくしておくことが大切です。

そして行きたい高校を考え始めましょう。いろいろな高校のホームページやパンフレットを見たり、実際に学校へ足を運んだりして、志望校を選びましょう。受験勉強の第一歩は、この学校へ行きたい！という気持ちから始まるのです。

新指導要領改訂に向けて(英語)

・学習単語数が小学校で学習するものに加え1600～1800語(現行は1200語)に大きく増加

⇒すでに小学校で600～700語を学習していて、中学校を卒業するまでに合計で約2500語の単語を学習する計算になります。とにかく今から、英単語をどんどん覚えましょう。早く対策を講じて損はありません。

・高校で学習している一文の文法を中学で習う

⇒表の記事でも示したように、「原形不定詞」「仮定法」などの言葉を見ると難しくそうですが、これまで習ってきた英文の形や、過去・現在完了などの時間のとらえ方をしっかりとつかんでいけば、理解も早いです。教科書の基本文を暗記して、英文の「型」を覚えるのは、手軽な勉強法の1つです。